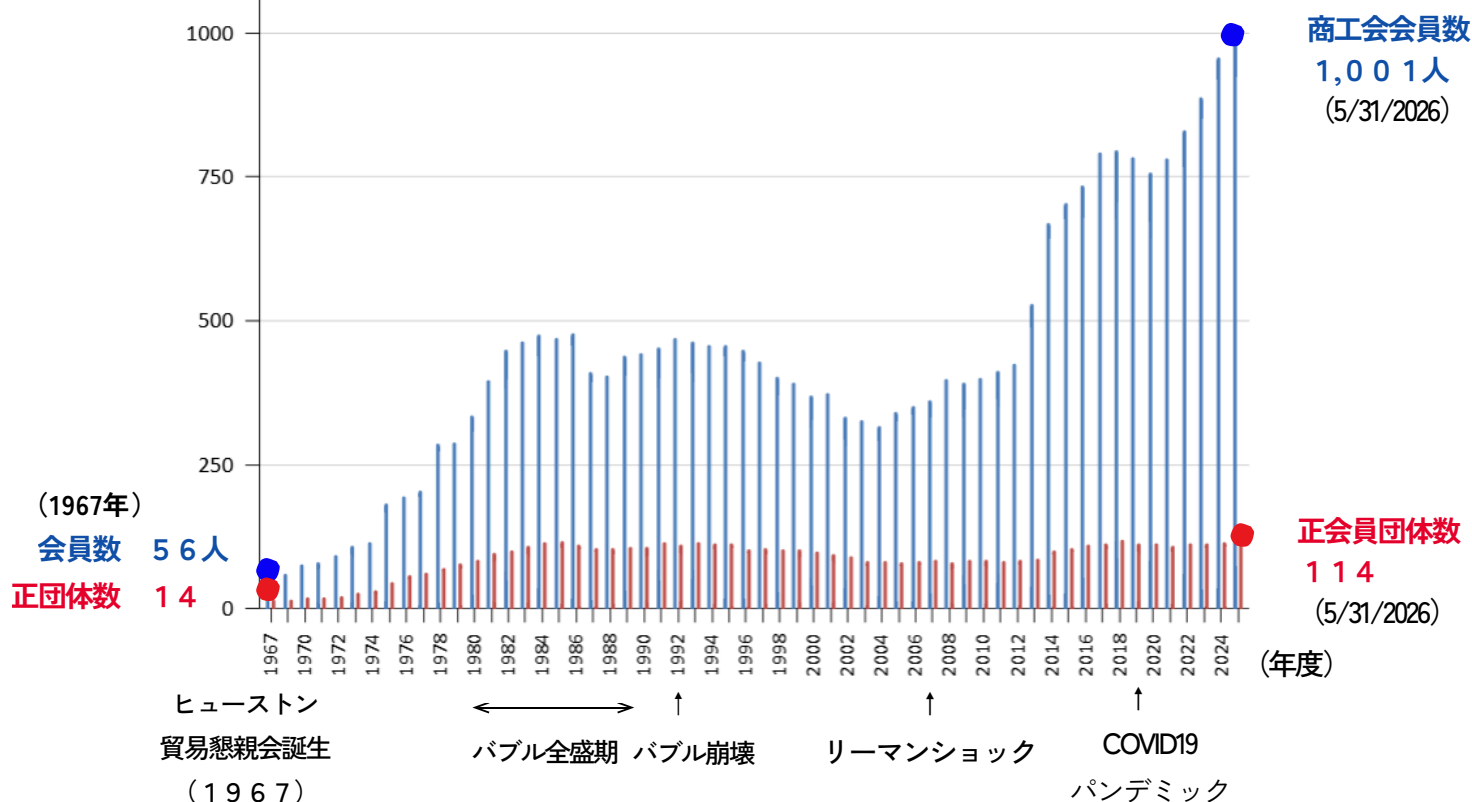


ヒューストン日本商工会 会員数 1,000 人突破

1967年、ヒューストン貿易懇話会（商工会の前身）は15社、会員数は56人からスタートしました。バブル崩壊やリーマンショックで会員数が減った時期はありましたが、2010年以降はヒューストンへの企業進出の拡大、会員基盤も着実に広がってまいりました。コロナ下では一時的に会員数が減りましたが、エネルギー分野に加え先端技術や製造業など、多様な産業の集積を背景に2025年度（2026年5月31日時点）に会員数が1,000人を突破いたしました。多くの会員の皆さまに支えていただき、商工会として大変感謝しております。

(人・正会員団体数)

JBAH年度別会員/正会員団体数



ヒューストン日本商工会の主な変遷

- 1967年 ヒューストン貿易懇話会（Japanese Trade Club of Houston）誕生
- 1972年 ヒューストン日本語補習校設立
- 1976年 ヒューストン貿易懇話会（Japanese International Trade Association of Houston）
と英語名改名及び認定
- 1978年 三水会館開設
- 1986年 ヒューストン日本商工会（Japan Business Association of Houston）と日本名・英語名改名
- 1998年 JBA Houston Foundation, Inc.設立
- 2001年 ヒューストン日本商工会及びヒューストン日本語補習校事務所統合・移転し、三水会センターと日本
名改名
- 2008年 ヒューストン日本商工会事務所・三水会センター移転
- 2017年 ヒューストン日本商工会50周年記念レセプション及びコンサート開催
- 2018年 ヒューストン日本商工会事務所・三水会センター移転

多くの会員の皆さまに支えていただき、商工会として大変感謝しております。会員数1,000人突破を記念し、皆さまからお言葉をいただきました。突然のアンケートにご協力くださり、本当にありがとうございました。

まずは、1,000人突破記念に図書館をご利用の方々からのコメントをご紹介します！

1. 会員数1,000人突破のご感想をお願いいたします。
2. あなたにとって「商工会会員であることの一番のベネフィット」はなんですか？



S.Oさん

1. 会員数が多くなるほど、読み聞かせやあそぼ一会などのほかにも商工会のご家族の方が集まる機会がもっと増えることを期待します。
2. 図書館が利用できること。



M.Oさん

1. おめでとうございます！ヒューストンで邦人の皆さまが活躍されていることをうれしく思います。
2. 図書館が無料で利用できること。海外にしながらこれだけの日本の書籍に親しめる環境があるのは素晴らしいです。



R.Eさん

1. 日本人の方がたくさんヒューストンにいらっしゃってすごいなあと思いました。大きな組織であることに驚きました。
2. 図書館が利用できることといろいろなイベントに参加できること。



Y.Tさん

1. 1,000人突破おめでとうございます！
それだけたくさんの日本人がヒューストンにいらっしゃることに驚きました。
2. 日本にまつわる様々な行事に参加できること。



K.Uさん

1. 会員数1,000人突破おめでとうございます！1,000人を超える人数に驚きました。
2. ヒューストンでも図書館で日本語の本を読むことができること。



Y.Uくん

1. ヒューストンでの日本人コミュニティが広がることはとてもうれしく思います。
2. 日本語補習校があること。
日本の教育を受けやすいこと。



Akaneさん

1. 会員数1,000人突破おめでとうございます。
2. 図書館で日本の本がたくさん読めることです。



マリモさん

1. ヒューストンのことを何も知らないでやってきましたが、こんなにたくさんの日系企業が集まっているとは本当に驚きでした。会員1,000人突破おめでとうございます。
2. たくさんのイベントを通して多くの人に出会えること。



K.Yさん

1. ヒューストンという地で頑張る“日本人”がこれだけたくさんいることに驚きと心強さを感じます。
2. 図書館でたくさん本を借りられることです。



Y.Oさん

1. ヒューストン日本商工会の会員数がこの10年で大幅に増えたということは、多くの企業やその家族にとって商工会が必要とされている存在になっているのだと感じました。私も家族会員として図書館で本を借りたり、様々なイベントに参加させていただいたりしています。そのたびに、いつも多くの会員の方々が利用されていて、商工会の活気や広がりを感じています。またこのようにヒューストンの日本人コミュニティがますます大きくなっていることは、私たち駐在員家族にとって大変心強いものです。今後もますます発展され、多くの方々に親しまれる商工会でありつづけることを願っております。
2. 図書館の利用や美筋ヨガ、心理カウンセラーを交えた相談会（お話会）等の様々なイベントに参加させていただくことで、日本人の方々と直接会って情報交換することができたり、また、商工会発行の『ガルフストリーム』やHPの『お助けマップ』などで、ヒューストンでの生活に必要な情報を得ることができることです。

次に、商工会を内側から支えてくださる方々からのお言葉をご紹介します！



遠藤宏治 様

ヒューストン日本商工会会長
米州住友商事グループ
エネルギービジネスEVP
ヒューストン店長

1. 商工会の変遷と会員数1,000人突破についてコメントをお願いします。

大変喜ばしいことです。ヒューストン日本商工会は1967年に設立され、日米企業間のビジネス促進と会員間の相互支援を目的に発展してきました。会員数1,000人突破は非常に意義深いマイルストーンであり、これまでの活動の蓄積の大きさを示すものだと思います。設立以来、ビジネスとコミュニティの両方を支えてきた点が、今日の基盤を形成していると感じています。一方で、1,000人規模になると、ネットワークとしての“面白さ”も一段上がってくると思います。単なる交流にとどまらず、思わぬ組み合わせから新しい価値が生まれるフェーズに入ってきたのではないかと思います。

2. 商工会の将来への期待やこれからどんな姿を目指してほしいですか？

従来の「パートナーシップ」「フレンドシップ」「次世代のために」という三つの軸は、これからも大切にしていきたいと思います。若手の育成や次世代への継承、地域とのつながりも含めて、商工会が「つながる場」から「価値を生み出す場」へと進んでいけると良いと思っています。商工会にいたからこそ出来た、ということが増えると良いですね。

3. 商工会入会に迷っている人に一言をお願いします。

入会を迷われている方には、「参加して初めて価値が見える場」であるとお伝えしたいと思います。情報収集、人脈形成、そして安心して相談できるコミュニティは、海外でのビジネスにおいて大きな力となります。まずは一歩踏み出し、積極的に関わることで、その真価を実感いただけるはずです。



皆川宏志 様

ヒューストン日本語補習校
校長

1. 商工会の変遷と会員数1,000人突破についてコメントをお願いします。

1967年の創立以来、長きにわたり当地における日本企業の活動を支え続けてこられた商工会が、会員数1,000名を超える規模にまで発展されたことに心より敬意を表します。日本は急速な少子高齢化が進んでいますが、会員の皆様が互いに支え合いながら歩みを止めることなく発展を続けてこられたことは、商工会の強い結束力と先見性の賜物であると感じております。

今年度、当補習校も過去最高の在籍589名でスタートしました。世界で最も勢いのある補習校と自負しております。このことも本地域の大きな魅力であり、その基盤を築いてこられた商工会の役割の大きさを改めて実感しております。

2. 商工会の将来への期待やこれからどんな姿を目指して欲しいですか？

今後の商工会には、これまで培われてきたネットワークと信頼を礎に、さらに多様な分野間の連携を促進し、新たな価値創造の拠点として発展されることを期待しております。グローバル化やデジタル化が加速する中で、日本企業同士のみならず現地社会との協働や人材育成への貢献など、より開かれた存在として地域全体の発展を牽引されることを願っております。また教育機関との連携も深めていただくことで、次代を担う子どもたちが安心して学び、世界にはばたくグローバル人材の育成にも引き続きお力添えをいただければ幸いです。

3. 商工会入会に迷っている人に一言をお願いします。

商工会は企業活動を支えるだけでなく、人と人とのつながりを生み、新たな可能性を広げてくれる大変貴重な場であると感じております。実際にヒューストン日本商工会は多くの日本企業の進出と発展、それに伴う地域コミュニティの充実の役割を果たしています。入会を迷っていらっしゃる方には、ぜひこのネットワークの一員として共に歩まれることをお勧めいたします。新たな出会いや協働を通じて、地域社会への貢献という大きな価値を実感していただけるものと思います。

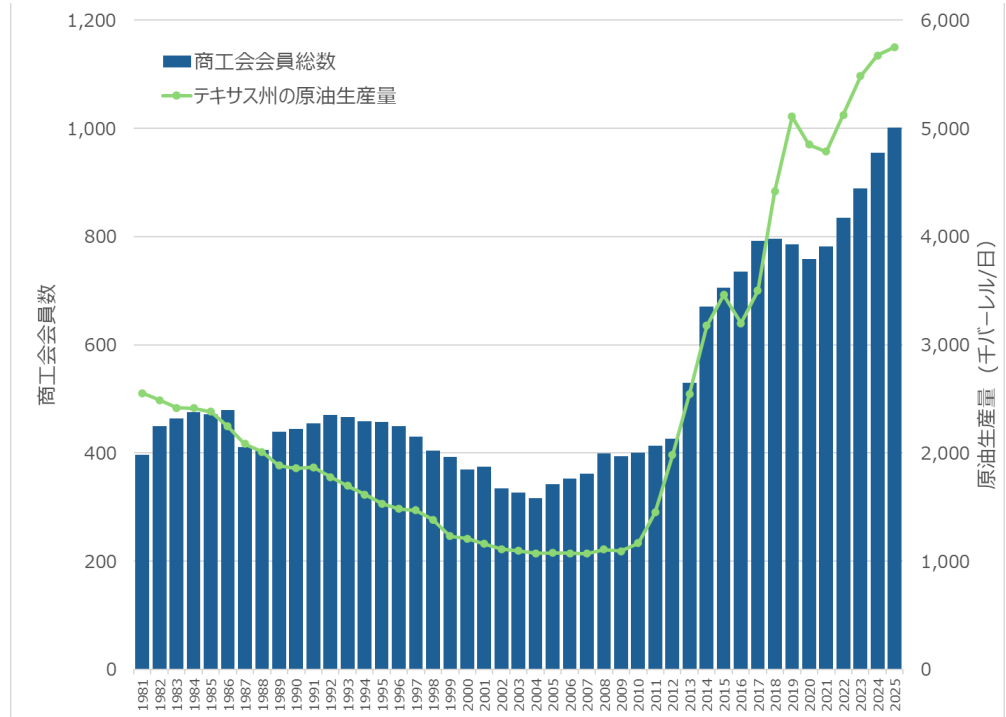
1. 商工会の変遷と会員数1,000人突破についてコメントをお願いします。



伊藤義治 様

ヒューストン日本商工会広報委員長
JOGMEC ヒューストン事務所長

会員数1,000名突破、おめでとうございます。2006年から2025年までのデータを見ると、商工会の会員数は年平均約5.3%、テキサス州の原油生産量は年平均約8.7%で成長していました。この2つの数字を見比べると、2000年代のシェール革命を背景に世界有数のエネルギー産業の中心地として発展してきたヒューストンの歩みが、商工会の会員数の増加とも重なっているように感じます。こうして数字を並べてみると、商工会は地域経済の成長を映す「バロメーター」の一つなのかもしれません。次は1,500名、2,000名という節目を迎えられる日を楽しみにしています！



2. この推移を見てどのようにお感じになりますか？（または、今後の商工会に期待することは何ですか？）

これまで築いてこられた他都市の商工会や教育機関等とのネットワークをさらに深めるとともに、地域コミュニティをはじめとした様々な団体との交流が広がることを期待しています。多様なつながりが新たなアイデアやビジネスのきっかけとなり、商工会や地域のさらなる発展につながることを楽しみにしています。

3. 商工会入会に迷っている人に一言お願いします。

ヒューストン商工会の魅力は、何よりも「人とのつながり」だと思います。産業・経済が発展するヒューストンで活躍する同胞の皆さんと出会いは、ビジネスはもちろん、さまざまな価値観や経験に触れる貴重な機会になると思います。入会を迷われている方は、ぜひ一歩踏み出してみてください。

令和7年度（2025-2026）6月 商工会理事委員会議事録

日 時：2026年6月17日(水) 12:00-13:50
 会 場：三水会センター会議室
 出席者：14名（うち名誉会長代理1名、理事委員11名、理事委員代理1名、オブザーバー1名）
 欠席者：6名（会長委任5名、理事委員1名）
 司 会：東 遼佑 幹事
 ※詳細については商工会の「[会員専用ページ](#)」をご参照ください。

読み聞かせ

8月11日（火）

10:30～

予約お申し込みは
商工会HPから



米国の空調事情と省エネについて

DAIKIN CONFORT TECHNOLOGIES NORTH AMERICA, INC.

赤間 悟

はじめに

ヒューストン日本商工会の皆様、こんにちは。ダイキン・コンフォートテクノロジーズ・ノースアメリカ社社長兼CEOの赤間でございます。

日本より一足早く、ヒューストンに夏がやって参りました。この暑い夏、皆さんいかがお過ごしでしょうか？オフィスや自宅では空調機をつけて、涼しくお過ごしのことだと思えます。今回は、弊社が製造・販売をしております空調機について記事を書かせて頂こうと思えます。

空調機の歴史

皆さんは、空調機がここアメリカで発明されたということは知っておられたでしょうか。二十世紀初頭、ウィルス・キャリア氏が印刷工場の湿度管理問題を解決するために開発したのが始まりです。

この装置は、空気の温度と湿度をコントロールすることができ、当初は印刷用紙の伸縮やインクの滲みを防ぐ目的で使用されました。

空調機が世の中に普及したのは第二次世界大戦後で、日本においても弊社グループ本社のダイキン工業が一九五一年に空調機を開発し、販売を開始しております。

空調機の仕組み

次に空調機の仕組みについて書かせて頂きたいと思えます。皆さんはどのように部屋を冷やしたり、温めたりしているのかご存知でしょうか？空調機の中に「よく冷えた空気」が入っていてそれを部屋の中に出していると思いませんか。

実は、空調機は、部屋の空気から「熱」だけを部屋の外に追い出しているんです。空調機で部屋を冷やせる理由は、部屋の空気から「熱」がどんどん無くなっているから涼しくなっているんです。では空調機はどうやって部屋の「熱」をなくしていると思われるか。

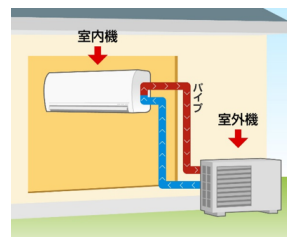
日本でよくある空調機を思い出してください。部屋の中の機械（室内機）と部屋の外の機械（室外機）があると思えます。空調機とは、この二つをパイプで接続したものにります。このパイプの中にはガス（冷媒）が入っていて、空調機をONにすると、パイプの中の冷媒が室内機と室外機の間をぐるぐる循環します。冷媒は室内機の中に入ると、部屋の熱を奪い、室外機に行くと奪った熱を放出します。このように空調機は部屋にある「熱」をくりかえし外に出すことで、部屋を涼しくしています。暖房の場合は、この逆で、外の熱を奪い、部屋の中で熱を放出すること、部屋の中を温めています。

米国の空調方式

空調機の仕組みが分かったところで、皆様が住まれているここ米国の空調機についてお話をさせて頂きたいと思えます。皆様はご自宅の空調機をご覧になられたことはあるでしょうか？見られたら分かるかもしれませんが、日本の空調機とは形状が全く異なります。

空調機の仕組み自体は同じですが、米国の場合は室内機が目に見えるところに置かれています。天井に空いた穴から冷風、温風が出てくるだけです。

実は米国では多くの室内機は屋根裏に取り付けられており、屋根裏の室内機にはダクトと呼ばれる筒が取り付けられ、全ての部屋の空調をしているのです。これをダクト式全館空調と呼び、多くの米国の住宅で採用されています。



▲空調機（室内機・室外機）



▲アメリカの空調方式

空調機と部屋の距離、太陽の光などによって部屋の温度ムラが出来たり、電気代が増加したりするデメリットはありますが、一度リモコンで空調機をONにすれば全ての部屋が一度に冷やされて楽というメリットもあります。

ヒートポンプ式暖房

次に米国の暖房事情について話をさせて頂きます。先ほど空調機の仕組みの章でも書かせて頂きましたが、日本の空調機で暖房をする場合は、外の熱を奪い、部屋の中で熱を放出することで部屋を温めています。これをヒートポンプ式暖房と呼びます。この方式は空気からエネルギーを取り出すことで、電気1に対して、数倍の熱エネルギーが得られるため、欧州等で再生可能エネルギーの一つとして定義されています。

対して、米国の空調機は主に電気ヒーターとガス暖房の二種類の方式で暖房をしています。

電気ヒーターは、キッチンに備え付けられている電気コンロと同じものが屋根裏に備え付けられていると考えてもらえると分かりやすいかと思えます。

ガス暖房は、ガスの燃焼熱を利用して暖房をしています。どちらの方式も屋根裏に設備を設置しています。特にガス暖房は、瞬時に熱を生み出すことが出来るため、日本の寒冷地方でもよく使われております。

電気ヒーター、ガス暖房ともに消費したエネルギー以上の熱が生まれることは絶対ないため、エネルギー効率はヒートポンプ式暖房に大きく劣ります。

日本では、販売される家庭用空調機のほぼ100%がこのヒートポンプ式暖房機能がついています。他方、米国においては、ヒートポンプ式暖房の普及率は15%程度で、ここヒューストンにおいても、電気ヒーター、ガス暖房が主流です。省エネのためにも、このヒートポンプ式暖房をもっと普及しなければならないと考えています。

インバーター技術

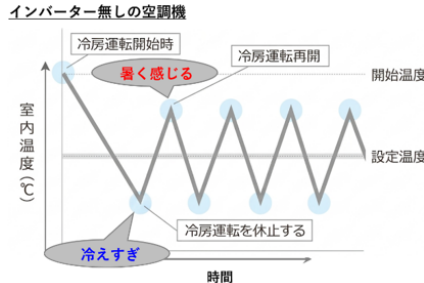
もう一つ、空調機の省エネ、快適性の観点で重要な技術を紹介させて頂きたいと思います。皆さん、空調の効いた部屋にいて、冷えすぎじゃないか？逆に暑すぎじゃないか？と感じたことはありませんか？そんな悩みを解決できるのが、インバーター技術です。あまり耳馴染みの無い言葉だと思いが、空調機、冷蔵庫、洗濯機などの家電や電気自動車、産業用機器など、様々なものに使用されている技術です。

インバーター技術によって、電気の電圧や周波数をコントロールすることが出来、ファンやポンプ、モーターなどの回転数を制御することが可能になります。空調機においては、このインバーター技術を、圧縮機と呼ばれる部品に使用しています。この圧縮機は、室内機と室外機の間で冷媒（ガス）を循環させるための重要な部品です。

ではインバーターがついている空調機とついていない空調機はどう違うのでしょうか？

インバーターがついていない空調機を使用する場合、空調機は単純なON/OFFの操作しかできません。

例えば冷房時は、運転開始時に一気に冷房を開始し、設定温度以下になったら停止します。運転停止後、設定温度以上になったら、再度運転を開始し、設定温度以下になるまで冷房をします。



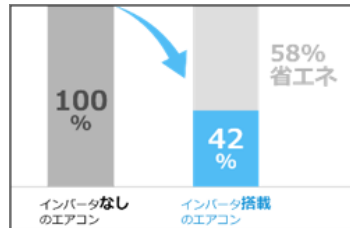
▲冷房時のインバーター無し空調機の運転

運転の停止と再開を繰り返すため、部屋にいる人は暑く感じたり、逆に冷えすぎだと感じたりします。また空調機の起動時には多くのエネルギーが必要となるため、消費電力が大きくなる傾向があります。

インバーター技術が搭載された空調機では、圧縮機の回転数を連続的にコントロールすることが出来るようになります。これにより、空調機は単純なON/OFFの操作だけでなく、暑い時にはハイパワー

で運転し、設定温度になれば、低パワーで運転して室温を一定に保つといったような運転が可能になります。結果、細かい温度調節が可能になり、快適性が増します。

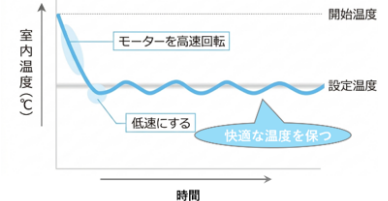
あくまでも日本の空調機での比較になりますが、インバーター搭載の空調機は、インバーターなしの空調機と比較して、およそ四十二%の節電になるというデータもあります。



▲日本での電力消費量比較（例）

年間消費電力量算出はJIS B8616:2015に定める条件
（地区：東京、建築用途：店舗）による
インバーターなしのエアコン(*) 5,702kWh
インバーター搭載のエアコン(SSRC140BA) 2,375kWh
* 現在日本国内ではインバーターなしのエアコンを販売していないため、SSRC140BAと同等のインバーターなしのエアコンを仮定して算出

インバーター空調機



▲冷房時のインバーター空調機の運転

また、空調機の起動の回数が抑えられることで、猛暑時の電力使用量の急上昇や災害時に発電量が減った際の大停電（ブラックアウト）を防ぐことが出来ます。こういったことから私たちはインバーター空調機を社会インフラと捉え、世界での普及を目指しています。

米国の電力使用状況

ではこのインバーター搭載の空調機は世界ではどのくらい普及しているのでしょうか？

世界の住宅用空調機におけるインバーター機の比率は、日本が100%、欧州が98%、中国が92%、経済発展中のアジア諸国が52%と世界でも大きく普及が進んでいます。しかし、北米のインバーター比率は16%とほとんど普及しておらず、米国は空調機での省エネに関して言えば、世界でも後進国になっている状況です。

同じく国際エネルギー機関の二〇二三年の報告では、米国の電力使用量の三十八%を一般家庭が占め、そのうち空調機関連の国際エネルギー機関の二〇二五年の中間報告によると、二〇二六年における世界の想定電力需要は27,400TWh、その内、米国は4,112TWh、世界の電力の十五・〇%を占めています。電力使用量が占める割合は約七十%にも上ると報告されております。

米国の空調機が世界の電力使用量に与えている影響は非常に大きく、米国でヒートポンプ式暖房やインバーター技術の導入を進めることが、米国はもとより世界のエネルギー使用量を削減できるカギだと考えています。

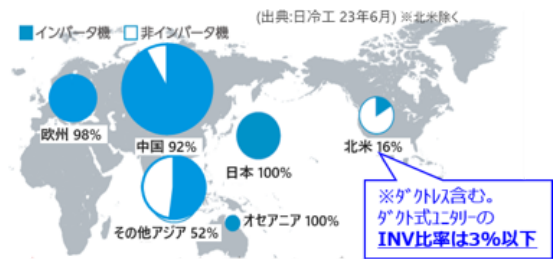
米国の電力使用状況

こういった状況を変革し、米国における空調機の世界環境負荷の低減に取組むため、弊社は日本で培った技術を結集し、インバーター技術とヒートポンプ暖房機能を搭載した環境プレミアム商品「FIRE」を開発・上市いたしました。本商品を米国で普及させることが、地球環境に貢献できると信じ、我々はここヒューストンから全米に向けて営業活動を行っております。

地球環境のために我々ができること

直近、AIの普及により、データセンターの設立が増え、より一層、電力使用量が増えていることが予想されています。

我々は技術や製品により地球環境に貢献しようと考えておりますが、より大きな努力の積み重ねが、地球環境をより良くしていく大きな力になると私は考えています。この記事を通して、今一度生活の中での省エネを考えて頂けると幸いです。



第583回

テキサス会ゴルフトーナメント



参加者集合写真



▲小山総領事閣下よりご挨拶

第583回テキサス会ゴルフトーナメントは「総領事杯」として、Wind Rose Golf Clubで5月31日（日）に開催されました。日中は気温30度を超える暑い日となりましたが、総勢66名が、午前8時よりショットガンスタートで競技を開始し、全員無事にホールアウトいたしました。

今回は「総領事杯」として開催され、在ヒューストン日本国総領事の小山武閣下にも表彰式へご臨席いただき、賞品の授与ならびに閉会のご挨拶を賜りました。

ベストグロスの部では、男性一般の部で案浦丈さんが73、男性シニアの部で赤松知之さんが84、女性の部で案浦スーザンさんが89を記録し、それぞれ見事に受賞されました。



また、第583回テキサス会ゴルフトーナメントの優勝には、川原剛さん（グロス75、ネット69）が輝きました。誠にありがとうございました！

川原さんは奥様とお嬢様と一緒に参加され、お嬢様にとってはこのような大人ばかりのゴルフトーナメントへの参加が初めてだったとのこと。緊張もあったようですが、楽しんでいただけたとのこと言葉を頂戴しました。また、川原さんご本人からは、普段仕事に関わる機会のない方々と一緒にゴルフを通じて交流できることは大変素晴らしい、とのご感想もいただきました。

今回は23の企業・団体・個人の皆さまより、多大なるご寄付を賜りました。この場をお借りして、心より厚く御礼申し上げます。

また、次回のテキサス会ゴルフトーナメントも、順位賞の他にも全参加者の中から抽選で当たる特別賞もご用意していますので、皆さまのご参加をぜひお待ちしております！

（第583回テキサス会幹事会社： JERA Americas/Iwatani Corporation/Kureha America）



優勝に輝いた川原 剛さん▲



特別賞（Astros戦チケット）を獲得された網干さん▲



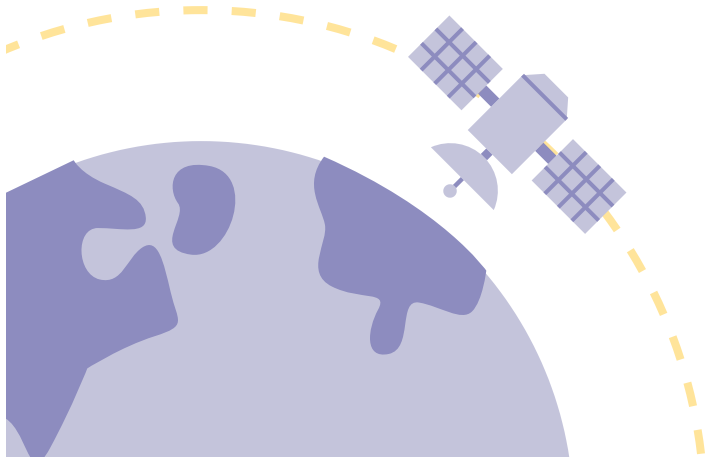
宇宙セミナー 活動報告

2026年6月13日（土）、ヒューストン日本語補習校にてJAXA宇宙セミナーを開催しました。今年度の宇宙セミナーでは、国際宇宙ステーション（ISS）で約166日の長期滞在を行った油井亀美也（ゆい きみや）宇宙飛行士が、ISSでの任務や生活、今後の活動について講演を行いました。会場には小学生から高校生、保護者や商工会員まで幅広い世代が集まり、活発な講演会となりました。

長野県川上村出身である油井飛行士は、幼いころから地元の満点の星空を見上げ、宇宙への憧れを抱いていたとのこと。防衛大学卒業後はテストパイロットとしてキャリアを積みました。2009年には、昨年度の宇宙セミナーで講演を行った大西卓哉宇宙飛行士らと共にISSに搭乗する日本人宇宙飛行士の候補者として選拔され、2015年に初めてのISS滞在を果たしました。

講演では、今回のミッション中にISSで行った実験や宇宙から撮影した写真などが紹介されました。また、ヒューストンのミッションコントロールセンターと、日本実験棟「きぼう」を見守るJAXAの運用管制室（茨城県つくば市）では24時間体制でISSでの活動を支援していることにも触れ、国際協力の下で宇宙開発が進められている点を紹介しました。

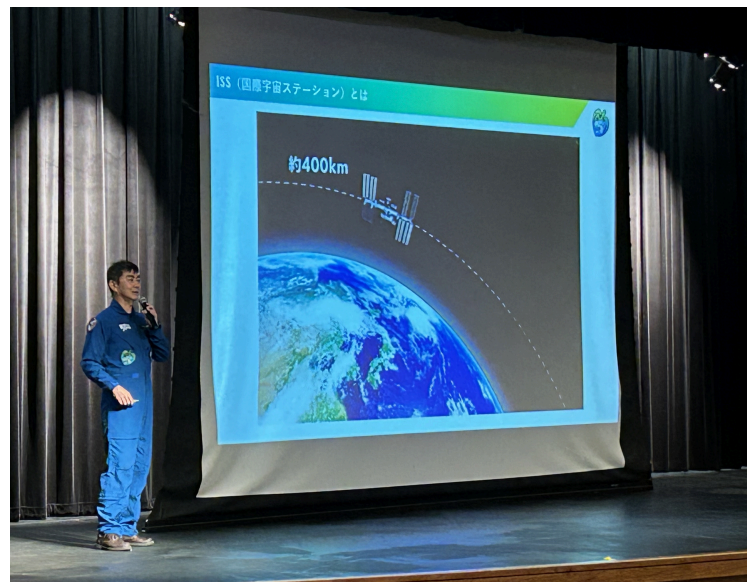
今回のミッションにおける特筆すべき出来事の一つとして、2025年10月に種子島宇宙センターからH3ロケットで打ち上げた新型宇宙ステーション補給機初号機（HTV-X1）を油井飛行士自身がキャプチャ（把持）したことが挙げられます。この作業では、ヒューストンのミッションコントロールセンターから星出飛行士とISS滞在中の油井飛行士と交信し、日本人宇宙飛行士同士による連携が実現しました。日本で研究開発されたH3ロケットと補給機のコラボレーションにより、生鮮食品や実験機材などの重要な物資がISSへ無事に届けられました。



会場の様子



油井亀美也宇宙飛行士による講演





最後に会場の皆様から興味深い質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われました。以下にその一部を紹介します。

質問：宇宙で散髪はどうするのですか。

回答：宇宙では床屋がないため、髪の毛はクルー同士で切り合います。無重力では切った髪が飛び散るため、バリカンと掃除機をホースでつなぎ、髪を吸い取りながら切る工夫がされています。基本的に私は自身でカットし、後ろなどの仕上げは仲間に頼み、互いに散髪し合います。上手な人がいればその人に任せることもあります。



質問：宇宙で撮った写真と自分で見た実物の景色は、どちらがきれいですか。

回答：宇宙で見た景色と写真の美しさには、それぞれ特徴があります。昼間の広大な地球などを眺める場合は、人間の目の方が視野は広く、明暗も自然に調整できるため、より迫力と美しさを感じられます。一方、星空やオーロラのように光が弱いものは、目では暗い中で色が分かりにくいので、写真の方が鮮やかに美しく写ることがあります。

質問：宇宙に行く前と行った後で実感したこと、自分の中で価値観が変わったと思うことはありますか。

回答：私は宇宙に行く前後では、価値観に大きな変化が生じました。宇宙から地球を実際に見ることで、その美しさと唯一無二の存在であることを強く実感できました。特に印象的なのは大気層であり、地球を包む空気が非常に薄いことに驚かされ、人間が環境を守る必要性を深く認識できました。また、宇宙からは地上の経済活動や国同士の関係も視覚的に捉えることができます。夜間に明るい地域は経済が活発であることが分かり、国境もはっきりと確認できます。こうした視点から、国同士がより協力し合えば、地球はさらに住みやすくなるのではないかと感じながらISSで過ごしていました。

質問：宇宙飛行士を目指すようになったきっかけと、実際に宇宙飛行士になって仕事をする上でのやりがいは何ですか。

回答：宇宙飛行士を志したきっかけは、子どもの頃に宇宙の美しさに惹かれ、宇宙から地球を見てみたいという純粋な憧れでした。その後成長する中で、自衛官としての経験も踏まえ、自分の能力を生かして日本や世界の人々のために貢献したいと考えるようになり、宇宙飛行士という仕事に強いやりがいを見いだしました。実際に仕事をする中で、世界各国の宇宙飛行士と協力しながら任務にあたることに大きな喜びと価値を感じています。言語や文化、価値観の違いを尊重し合い、互いに歩み寄る国際的な協力関係は、宇宙ステーションならではの魅力です。このような文化を地球にも広げることができれば、より平和で住みやすい社会につながると感じており、その実現に貢献したいと考えています。

質問：宇宙飛行士になるためにどのような勉強をしましたか。

回答：宇宙飛行士になるためには、特定の科目だけでなく幅広い勉強が重要です。特に数学や理科は役立ち、好きで積極的に取り組んでいたことが助けになりました。一方で、苦手な分野も含めてしっかり勉強しておけばよかったと感じており、全体的にバランスよく取り組むことが大切だと考えています。また、勉強以外では家の手伝いを通して身につけた「相手の求めることを先回りして行動する力」が非常に役立ちました。このように、学習だけでなく日常生活での経験も宇宙飛行士として重要な力になるといえます。

今後の活動にぜひご注目ください！

2027年中には諏訪理（すわ まこと）宇宙飛行士がISSで長期滞在する予定です。現在、諏訪飛行士はヒューストンの他、世界各国で訓練に励んでおりますので、引き続きヒューストンの皆様からJAXA宇宙飛行士の応援をいただけますと幸いです。

JAXAの事業についてご興味がある方は、後述の関連リンクやSNSをご覧ください。また、毎年ハーマン・パークで開催されるジャパン・フェスティバル・ヒューストンでは、JAXAブースを出展する予定です。ぜひお立ち寄りいただき、宇宙開発や飛行士を支える職員との交流をお楽しみください。

（JAXAヒューストン駐在員事務所 服部桃子）

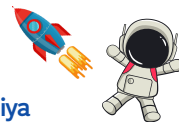
公式X（旧Twitter）



油井飛行士公式X：
https://twitter.com/Astro_Kimiya



諏訪飛行士公式X：
<https://twitter.com/AstroMakotoSuwa>



関連リンク

油井飛行士のミッション特設サイト：
<https://astro-mission.jaxa.jp/yui/>

H3ロケット：
<https://www.rocket.jaxa.jp/rocket/h3/>

HTV-Xミッションについて：
<https://huma1ns-in-space.jaxa.jp/htv/mission/>

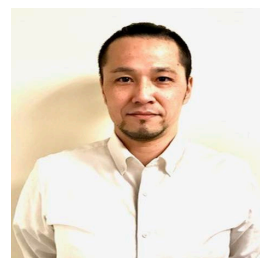


MEET OUR NEW MEMBERS!

会社紹介

Relo Redac, Inc.

正会員 渡邊隼さん（拠点長）



会社の業務内容について

Redac（リダック）は、在米日系企業およびその駐在員に対し、住宅斡旋をはじめ、保険、通訳、赴任者管理アウトソーシング、商業不動産（オフィス移転・契約支援）などのサービスを統合的に提供する総合リロケーションサービス企業です。1986年の創業以来、単一都市のみならず全米に拠点を展開し、日系企業の米国進出および駐在員の生活基盤構築を一貫して支援してきました。渡米前の準備から滞在中の生活支援、帰任・帰国後に至るまでワンストップで対応し、企業の人事・総務業務の効率化、リスク低減、赴任者満足度の向上に寄与しています。2026年には創業40周年を迎え、これまでに培った豊富な実績と専門性を背景に、企業にとって信頼性の高いパートナーとして高い評価を得ています。

ヒューストン、テキサスの印象

ヒューストンは、私が滞在していたシカゴと比べると「肩の力を抜いて暮らせる街」という印象が強いです。気候が温暖で冬の厳しい寒さがない分、毎日の生活ストレスが少なく、気軽に外出もしやすいのが大きな魅力だ

と感じます。また、エネルギーや医療、航空宇宙関連などの産業が集まっています。日系企業も多く、日本人の生活環境としても安心感があります。シカゴ同様に日本人向けのスーパーやレストランも揃っているので、「海外だけど生活は意外と不便じゃない」というバランスの良さがあり、個人的にはシカゴの都市としての魅力は高い一方で、ヒューストンは無理なく長く住める街で特にファミリーや初めての駐在の方にとっては、アメリカを感じながらのんびりと過ごせるいい環境だと思います。

個人的な関心事（趣味等）について

趣味は車とバイクいじり、料理を楽しんでいます。もともとアメ車が好きで日本では1955年型フォードに乗っていましたが維持費が高いため、じゃあアメリカで乗ればいいんじゃないか？という発想でアメリカ移住を決めたという事もあり、日常的に古いアメ車が走っているアメリカでまさに天国のような暮らしを毎日楽しんでいます。なお、日米通算で不動産業界に20年以上従事しており宅建士も持っていますので日米問わず不動産の事でご質問があれば気軽に聞いてください。

第2回JMTX特別企画 ウェビナー報告

テキサス育ち x 日本ルーツ 中・高校生のための進路選択

～先輩の声を聞く～
日米の大学進学・大学生活について
「制度」と「リアル」から考える



2026年6月6日、日本テキサス医学振興会（JMTX）とAdvanced Global Plus在外教育施設重点支援プラン（AG+）OBOG部会の共催により、「テキサス育ちx日本ルーツの中高生のための進路選択 ～先輩の声を聞く 日米の大学進学・大学生活について「制度」と「リアル」から考える～」をテーマに特別企画ウェビナーを開催いたしました。

本ウェビナーは、米国テキサスで育ち、日本にルーツを持つ中高生とその保護者を対象に、JMTXの活動への理解を深めるとともに、将来、自らの志す分野でリーダーとして道を切り拓いていくための視点を育むことを目的としました。当日は100名あまりの方にご参加いただきました。本ウェビナーは、在ヒューストン日本国総領事館の後援、ヒューストン日本語補習校、ダラス補習授業校、オースチン日本語補習校、サンアントニオ補習授業校、Japanese Medical Support Network（JAMSNET）の協力のもと、Zoomにて開催されました。

今回のウェビナーは、従来とは異なる趣旨で実施されたこともあり、参加者にも通常とは異なる特性が見られました。具体的には、保護者が全体の約7割を占め、現在・過去における補習校関係者が約80%にのぼりました。また、長期にわたりアメリカに在住している層が多数を占めていました。

本ウェビナーは、イントロダクション「日米大学進学の違いと高校での準備（総論）」、「物理好きから工学部へ」、「アメリカでの高校生活とその後」、およびQ&Aセッションの計4部構成で実施いたしました。第1部のイントロダクションでは、JMTX代表理事である福田由梨子氏が、日米における大学進学制度の違いを体系的に整理しました。進路選択には複数の可能性があるという前提のもと、4つの主要進学ルート（日本：一般入試・帰国生入試、アメリカ：総合評価型・テキサス州立大学）の特徴と準備方法について説明しました。

続く第2部では、現役大学生の梅溪智通さん（Cockrell School of Engineering, The University of Texas at Austin）が、第3部では、現役大学院生の五味慧莉香さん（UTHealth Houston McGovern Medical School, M.D. Candidate 2027）が講演を行いました。現役大学生・大学院生が語る“今まさに進行形”の大学生活や進学準備の実情、さらには振り返って見える気づきは、参加者にとって大きな示唆を与えるものでした。登壇者は、制度を理解した上で、自らの強みや志向、関心や適性に丁寧に向き合うことの重要性を強調しており、それが納得度の高い進路選択につながると述べていました。これらの体験に基づく率直かつ具体的な語りは、多くの共感を呼びました。

続くQ&Aセッションでは、ヒューストン日本語補習校高校1年生の兒子慶子さんが、進学に向けた悩みや準備について質問しました。本ウェビナーの内容を象徴する第一のキーワードは「継続力」でした。登壇者は、課外活動の数の多さではなく、一つひとつの取り組みを長期間継続することの重要性を強調していました。こうした積み重ねが個人の資質として評価される点は、米国の大学入試の特徴を端的に示すものであり、参加者に強い印象を残したと考えられます。

本ウェビナーは、テキサスで育つ後輩世代に対し、自らの可能性を主体的に切り拓いていくための力強いメッセージを届ける機会となりました。進路に迷う中高生にとって、自らの価値観を見つめ直し、挑戦を恐れず歩み続けることの大切さを改めて認識する有意義な場であったことを願います。また、登壇者3名はいずれも在米歴が長いものの、日本語での高いコミュニケーション能力を有しており、言葉の力の重要性を実感させるものでした。本ウェビナーは大変好評であり、次回開催を望む声も多数寄せられています。

JMTXでは今後も、在米日本人の皆様の生活に役立つ医療・健康情報を継続して発信してまいります。次回、第9回JMTXウェビナーは9月下旬に開催予定です。詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。

最後に、本ウェビナーの資料および録画は、[JMTXホームページ](#)よりご覧いただけます。



第258回 肝炎と生活習慣

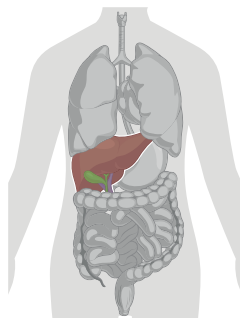
医師（現Houston Methodist Research Institute研究員）

安藤 知史

皆さん、こんにちは。安藤知史と申します。私は慶應大学医学部外科に所属し、大腸外科医として二〇二三年三月まで日本で働いていました。二〇二三年四月に渡米し、ボストンのMassachusetts General Hospitalの放射線外科の研究室で肝臓癌の研究を開始しました。ボスの昇進によりラボがヒューストンへ引っ越しとなり、二〇二五年九月からHouston Methodist Research Instituteの移植外科で、ボスとともにラボの立ち上げを行っています。すでにヒューストンで働き始めて九カ月になりますが、やっと動物実験が開始できる状況で（自動車運転で言えばやっと免許を取得したところ）、ラボの立ち上げの大変さを痛感しています。さて、私は今回、自身が研究テーマにしている脂肪肝炎と肝臓癌について皆さんが身近に関係するかもしれないポイントをお話したいと思います。

MASHとは

肝臓病の分野で大きな注目



近年、肝臓病の分野で大きな注目を集めているのが、MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）です。これは以前「NASH（非アルコール性脂肪肝炎）」と呼ばれていた病気で、肝臓に脂肪が蓄積し、炎症や線維化（傷あと）が進行する状態を指します。肥満、二型糖尿病、脂質異常症、高血圧などの生活習慣病と深く関係しています。皆さん、脂肪肝はよく聞くことがあると思いますが、脂肪肝が遷延したり、慢性的に増悪していくと、肝炎に進行していきます。

MASHの最大の問題

自覚症状がほとんどないまま進行すること

MASHの最大の問題は、自覚症状がほとんどないまま進行することです。健康診断で肝機能異常を指摘されても放置されることが少なくありません。しかし、炎症が長期間続くと肝臓が硬くなり、やがて肝硬変へ進行します。さらにその一部では、肝細胞癌（肝癌）を発症するリスクが高まります。近年ではウイルス性肝炎が減少する一方で、肥満や糖尿病に関連したMASHが肝細胞癌の重要な原因として増加しています。とりえず血液検査をして肝機能に異常がなければ大丈夫なのでしょう、と思うかもしれませんが、実は、MASH、特に初期のMASHをきちんと（実際の肝臓がMASHになっているのかどうか）診断する方法はありません。脂肪肝、そして重度のMASHおよび肝硬変は比較的容易に検査で分かりますが、血液検査や超音波検査では脂肪肝とMASHの違いはわからず、どういった脂肪肝がMASHに進行していくかも明らかにありません。

生活習慣との関係は非常に密接です。特に高カロリー食、砂糖を多く含む飲料の過剰摂取、運動不足、睡眠不足などは体重増加を招き、内臓脂肪の蓄積を通じて肝臓への脂肪沈着を促進します。肥満になると脂肪組織から炎症性物質が分泌され、肝臓の慢性炎症を引き起こしやすくなります。MASHは単なる「脂肪肝」ではなく、全身の代謝異常を反映する病気と考えられています。



MASHの治療

基本は生活習慣の改善

現在のところ、MASHの治療の基本は生活習慣改善です。研究では体重を七〜一〇%程度減量すると肝臓の炎症や脂肪沈着が改善し、さらに一〇〜一五%以上の減量で線維化の改善も期待できることが示されています。食事では野菜、果物、全粒穀物、魚を中心とした食生活が推奨され、定期的な有酸素運動や筋力トレーニングも重要です。近年は肥満治療薬やMASH治療薬も登場していますが、それらも生活習慣改善と組み合わせることで十分な効果を発揮します。

こうした背景から、肥満率の高い地域ではMASHや肝細胞癌の増加が公衆衛生上の大きな課題となっています。米国全体では成人の約四割が肥満とされており、肥満は糖尿病や心血管疾患だけでなく、肝疾患の主要な危険因子でもあります。テキサス州も例外ではありません。最新のCDCデータによると、テキサス州の成人肥満率は約三五%前後で、成人のおよそ三人に一人以上が肥満に該当します。米国南部は全体的に肥満率が高く、テキサス州もその影響を受けています。特に中年層や糖尿病患者では肥満とMASHのリスクが高く、将来的な肝硬変や肝細胞癌の増加が懸念されています。

まとめると、MASHは「肥満によって起こる肝臓の慢性炎症」と考えると理解しやすいでしょう。放置すると肝硬変や肝細胞癌につながる可能性があります。早期発見と生活習慣の改善によって進行を抑えたり、改善させたりできる病気でもあります。肥満率が高いテキサス州では、体重管理、適切な食事、運動習慣の確立が、将来の肝癌予防にも直結する重要な健康対策となっています。



このように、肝臓癌につながるMASHですが、脂肪肝と合わせて早期のMASHは生活習慣の改善で治る可逆的な病気です。前述のようにMASHは診断するのが難しいので、診断されるのを待つのではなく、毎日お酒を飲みたい人だったり、少し太ったなと思ったときには、まずは予防的に継続可能な軽い運動から始めてみるのも手かもしれません。ただ、運動を継続的にやるとか習慣を変えると簡単に言いますが、本当に難しいですよ。

今回は同じ部署で働いている古城憲先生です。ポストンにいたときから一緒に働いています。日本での専門も大腸外科で同じなので、大変お世話になっております。

バックトゥースクール セミナー第1弾

先輩ママに聞いてみよう！ ベーグルを囲んで楽しむランチ交流会
～「これで大丈夫！」と思えるヒントがきっと見つかります～

「幼稚園ってどんな雰囲気？」

「学校とのやり取りはどうしているの？」

「ミドルスクールになると何が変わるの？」

先輩ママのリアルな体験談やアドバイスをご紹介します！

おいしいベーグルを囲みながら、
参加者同士で情報交換や交流を楽しんでいただける時間も
ご用意しています。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



日時：7/30（木）9:30～

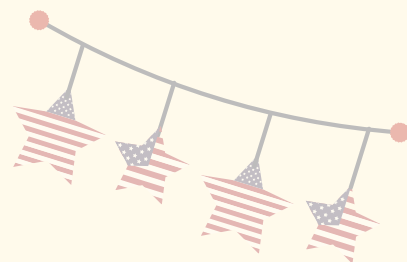
場所：三水会センター会議室

参加費：無料

お申込みは商工会のHPから



第261回
ヒューストン日記
横山 明子さん



やっぱりアメリカ 何回目？

我が家には高校3年生、中学2年生、小学1年生の三人の子どもがいます。

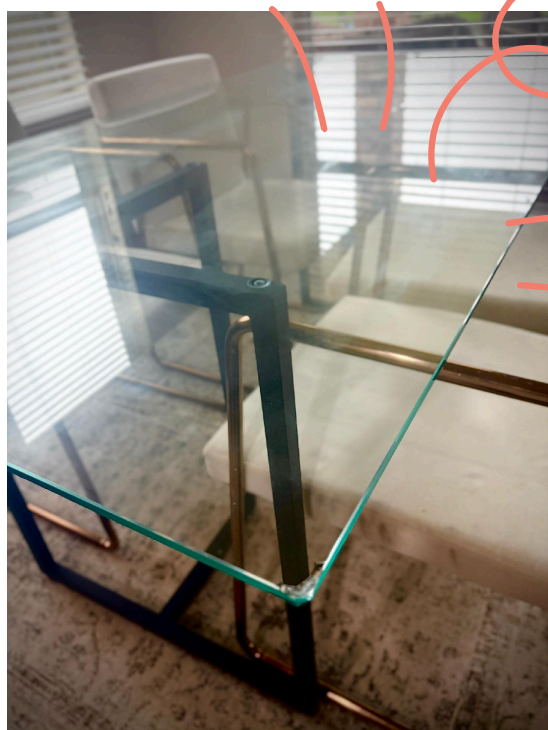
以前シアトルで4年間暮らし、その後日本で4年間過ごし、今回ヒューストンへやって来ました。現在5か月が過ぎたところです。

アメリカ生活は2回目。少しは慣れているつもりでしたが、シアトルとヒューストンはまったく別世界。気候も街の雰囲気も文化も違い、結局また一からのスタートです。

そんな中で起きたのが、オンラインで注文したガラスのダイニングテーブル事件です。

新生活を気持ちよく始めたくて、高価でしたが思い切って注文しました。

しばらくして届いたガラステーブルをウキウキで開けてみると、ガラス天板の端に小さな欠けを発見。日本人感覚の私にはどうしても見過ごせず、販売元に連絡して、ガラス天板だけ代品を送ってもらうことにしました。



▲ガラス天板が欠けたテーブル

アメリカだから、こういうことはあるよね。そう思いながら、欠けたテーブルは家族の食事に必要なだったので、ちゃっかり使い続けました。

そして届いた代品。今度こそと思って箱を開けると、やっぱりアメリカ。欠けではなく、しっかり割れていました。しかも、なぜか問題のない支え脚まで、もう一セット届くという謎のおまけ付き。

その後も、ガラス天板の再送をお願いするたびに、届くものは割れている。2回目も割れ、3回目は箱を開ける前から中でジャリジャリ音がし、4回目には、もう不思議と「割れていてほしい」と思いながら開封している自分がいました。そして、やっぱりアメリカ。見事に割れていました。

さすがにもう無理だと思い、販売元にキャンセルと返金を依頼しました。

これまでの問い合わせ、写真提出、受け取り対応、不要な支え脚の引き取り依頼。怒り心頭です。

すると販売元から、拍子抜けするほどあっさり、こんな返事が来ました。

「返金します。欠けたテーブルは返品不要です。廃棄、ドネーション、またはそのままお使いいただいても構いません。」

え、ということは。

欠けてはいるものの、テーブルセットが手元に残ったということです。

最初は怒っていたはずなのに、気づけば我が家は、アメリカの大きさ感謝しながら、その“タダガラステーブル”で毎日食卓を囲んでいます。

やっぱりアメリカ。こういうこと、あるよね。





“星の王子様”のマダガスカル島

マダガスカル島で最大のバオバブの樹を求めて走り回る

冒険する 歯科医 “Dr.Ned”の 気ままな フォトアルバム 42

私は写真やビデオを撮るのが好きなので、プロカメラマンの友達が何人かいる。巨樹の写真家、吉田繁さんの率いる侍ジャパンが、美術館に自分の写真を売り込むヒューストンでのイベントに参加した時、みんなをCaddo Lake にカヤックガイドをしたことがある。その吉田さんから電話がかかってきて、マダガスカルのパオバブのツアーを出すけど来ない？ということになり、話はとんとん拍子に進んだのであった。2024年9月、私にとっては初のアフリカ入りである。私も巨樹のある風景には弱く、古くは西表のマングローブ、最近はずいぶん知れてきたCaddo Lakeのサイプレス（[Gulfstream 2023年9月号](#)）、ヒューストンのCisternはちょっと番外編だが（[Gulfstream 2025年7月号](#)）とにかくああいふ構造物に弱いのだ。実際マダガスカルは、ヒューストンから行くより、日本からのほうが近いことが判明し、ヒューストンにいるから行くべきという優位性は皆無だが、バオバブの木は子供のころから“星の王子様”の影響で興味あったので、ここに書くことにする。とはいえ、小学生のころ読んだ“星の王子様”の話はなんか難解で自分には面白みに欠けてたような気もする。ただ挿絵だけが強烈に焼き付いているのだ。



▲樹齢何千年とも思われるバオバブ

で、バオバブである。見た感じ、樽型の幹、根っこが上にあるような、さかさまに生えたような見た目。なぜか一番高いところが平たに広がり、まるで古代樹のようだが、地球の歴史的には新参者の

木らしい。ただ個体としての寿命はけた違いに長く、樹齢1000－5000年に達するものも多い。また太い幹はまるで巨大なスポンジで最大10トン近くの水を蓄えており、人間や動物の水源としても使われる。その分、老木になると中が空洞化して、人間に貯蔵庫や避難場所として使われたりもする。果実はすっぱくておいしく、ビタミンCはオレンジの4－6倍で、お肌の張りにもいいらしい。また木の皮もロープや家を作るのに使われ、いろんな薬にもなり、捨てる場所はないと言われている。ただスポンジのような構造なので、倒れるときは一気に崩れるように倒れ、この時私たちが見た、マダガスカル最大と言われていたバオバブも、今年5月に半分崩れた模様。最近では気候のせい、老木が次々と倒れており、バオバブも絶滅危惧種になっているようだ。ここまでなぜか学術的になってしまいましたが、ここからはいつも通りに行きます。

まずは、フォトジェニックなバオバブを[Youtube](#)で是非楽しんでください！



▲バオバブStreet

▼大量の水を蓄えている幹



天の川とバオバブ▶

ここでは、バオバブの周りに住む人々のことを書こうと思う。まず主食は、日本と同じごはん、これは旅をするうえで非常にポイントが高い。みんな大皿に大盛りのご飯を、わっせわっせとかきこんでる（日本の茶碗だとたぶん3-4杯分はある）、いわゆる炭水化物祭り状態であるが、運動量がけた違いに多いのか、みんな筋肉質でスリムである。食事は日本の家庭料理に近く基本的にうまい。そして頼めば必ず登場する、Sakayという香辛料。我々は“さかいさん”と呼び親しんでたが、これがまた絶妙な和食風味。ゆず胡椒に近いが、それよりも主張が強くショウガやニンニクも混



▲Sakayという香辛料
別名“さかいさん”

ざっている感じ。赤と緑があり、私は緑派だ。だがどちらも捨てがたい。アメリカでも、カナダから買える。ただ配送に時間がかかるので、大道さん輸入をお願いします！たぶん日本で売れば大ヒット間違いなく、日本の正しい家庭料理、なんにでもあうのだ。

ところで、我々はいろいろなバオバブを求めて、ぼろぼろのパジェロとランクルに分かれて、荒野を何時間もさまよったが、集落から集落までは何時間も離れているのに、その中間点みたいなところに平気でお母さんが子供を連れて、頭に大きなかごを載せて、ほぼ裸で、ビーサンで歩いている。これどうなってるのか不思議だ。歩いて次の集落まで日暮れ前につくとは思えないのだ。そのくせスマホを片手に持っている人は多



く、中には頭のかごの上に太陽電池を載せて充電しつつ歩いている我々より一歩先に行くお母さんも存在する。しかし一夫多妻も残っており、女の方は働き者で、男の方は基本的に何もしない。一頭何万円かの牛を10頭だか持っていれば、その男は勝ち組だ。つまりヒューストンの日本男児はみんな勝ち組になれるのではないかと思う。

基本、車で荒野を何日も移動しつつ写真を撮るのだけど、止まるたびに、な一んにもない荒野のはずなのに、どこからともなく子供たちがわらわらと出てきて、ボンボン（アメ）をくれと、手を差し出しながら迫ってくる。清水歯科のQRコード入り歯ブラシを持ってくればよかったと後悔した。またドローンなど出そうものなら、すぐに50人くらいは人がどこからかわからないけど、集まるのだ。奥地には聖なるバオバブの樹もあり、根元にはラム酒のお供え、幹にはしめ縄のようなものが巻いてあり、その周りは土足厳禁、さい銭箱まで装備してあり、そのまま日本だ。

▼ボンボン（アメ）ちょうだい



ある時、日暮れ後にドローンを飛ばしていて、25m上の木の枝に引っかかった時などは、本当にどこからともなく人が集まり、いつの間にか軍隊まで出てきたが、結局は小さい子供が、ドローンを無事に救出してくれて、助かった。またパジェロやランクルは年代物で、車が壊れると、現地のガイドが部品をいろいろ動かした挙句、ひもで結んで固定し、走りだしたりする。またフェリーに乗るといっているので待っていたら、なんとカヤックをつなげて作った、いかだみたいなのが来て、それで川を渡る、あまり驚いてはいけない。



▲いかだのようなフェリー

泊まるホテル（？）は電気や湯どころか、水そのものが出ないホテルがほとんどだったりで、シャワーの下に赤と青のバケツに水が溜めてある。冬なので当然どちらも同じ温度の冷水になっている。

怪しさ満点なので当然使わずで、楽しい旅でした。ぜひ一度、バオバブがなくなる前に見に行ってください。

その他の冒険動画は、[YouTube](#)で“冒険する歯科医”と検索してみてください。チャンネル登録、コメントよろしくお願いします！



J. AUTO SOLUTIONS

アメリカで後悔しない中古車選び

10年間で2,500台以上の車を見てきた私が伝えたいこと

ヒューストンとダラスを拠点に、日本人駐在員やご家族、留学生の皆さまへ中古車販売や新車の手配、リース、メンテナンス、修理など、幅広いカーライフサポートを提供しているJ.Auto Solutions（ジェイ・オート）のユンです。

私はアメリカで約10年間、自動車業界に携わり、これまでに2,500台以上の車の売買に関わってきました。テキサスへ赴任される方や留学生の方からよくいただくご相談の一つが、「どんな車を選べばいいのかわからない」というものです。

車選びはとても奥が深く、本来なら一冊の本が書けるほどお伝えしたいことがあります。今回はその中でも、これからアメリカで車を購入される方にぜひ知っておいていただきたいポイントを絞ってお話したいと思います。

おすすめまずは「自分に合った車」を選ぶ

テキサスではSUVが非常に人気です。荷物がたくさん積めて家族で使いやすく、走破性に優れておりアウトドアにも向いているため、多くの方がSUVを希望されます。ただし、その分価格は高くなります。

一方でセダンは燃費が良く、維持費も比較的抑えやすいのが特徴です。また、同じ予算で比較した場合、SUVより年式が新しく、走行距離が少ない車を選びやすいというメリットがあります。

最近は円安の影響もあり、車の予算をできるだけ抑えたいという方も少なくありません。

そんな時に私がお客様へお伝えするのは、「本当にSUVが必要ですか？」ということです。

もちろんSUVが悪いわけではありません。しかし、通勤や通学、お子様の送り迎えなどが中心であれば、セダンでも十分に快適なカーライフを送ることができます。

人気やイメージだけで決めるのではなく、ご自身の使い方や予算に合わせて選ぶことが大切です。

CARFAXは必ず確認したい

気になる車が見つかったら、CARFAX（カーファックス）などの車両履歴レポートを確認しましょう。事故歴やメンテナンス履歴、過去の所有者情報などを確認することができます。

ただし、日本人の方は「事故歴あり」と聞くと、一括りに考えてしまう傾向があります。しかし実際には、事故歴にもレベルがあります。

CARFAXでは損傷の程度によって、Minor Damage（軽微な損傷）、Moderate Damage（中程度の損傷）、Severe Damage（重大な損傷）などとレベルに分けて記録されています。

もちろん事故歴のない車を選ぶのであれば、それに越したことはありません。

ただ、理想のお車に事故歴が付いていた場合は、「事故歴あり」というだけで判断せず、ぜひ右表の点をご確認ください。

事故歴について正しく理解しよう

CARFAXの事故・損傷履歴には、損傷の程度によってレベルがあります。

Minor Damage (軽微な損傷)

最も軽いレベルの損傷



よくあるケース

- ・駐車場で軽く擦った
- ・低速での軽い接触事故
- ・バンパーやフェンダーの修理 など



直ちに「危険な車」「買ってはいけない車」というわけではありません。

私たちが仕入れの際、Minor Damageの履歴だけを理由に候補から外すことはほとんどありません。



軽微な事故歴があることで、同じ年式・同じ走行距離の車よりも価格が抑えられているケースもあります。

Moderate Damage (中程度の損傷)

注意が必要なレベルの損傷



よくあるケース

- ・ドアやフェンダーなど複数の部品交換
- ・比較的大きな衝突事故 など



必ずしも購入してはいけないわけではありませんが、注意が必要です。

- どの部分を修理しているのか
 - 修理内容は適切だったのか
- を慎重に確認する必要があります。



購入を検討する場合は、信頼できる業者に相談することをおすすめします。

Severe Damage (重大な損傷)

最も重いレベルの損傷



よくあるケース

- ・エアバッグが展開するほどの事故
- ・車の骨格部分（フレーム）に影響する損傷
- ・大きな衝突や横転事故 など



安全性や耐久性に影響が残る可能性が高いため、私は基本的におすすめしていません。



大切なのは「事故歴があるかないか」ではなく、「どの程度の事故だったのか」を正しく理解することです。事故歴あり・なしだけで判断するのではなく、その内容まで確認することが、失敗しない中古車選びにつながります。

実は大切な「どこの州で使われていた車か」

CARFAXを見る時に、一般の方があまり気にされないポイントがあります。それは、その車がどこの州で使われていたかということです。

私たちは中古車を仕入れる際、この点を非常に重視しています。

特に北部の寒冷地で使われていた車は、できるだけ避けるようにしています。理由は、雪が降る地域では道路に融雪剤（塩）が撒かれるためです。

また、機械はもともと寒さに非常に弱く、厳しい寒冷環境は車そのものに大きなストレスを与えます。エンジンやバッテリー、ゴム類などの劣化も進みやすく、そこに融雪剤によるサビのダメージが加わることで、さまざまな故障を誘発しやすくなるのです。

私は以前シカゴで車を販売していましたが、寒冷地で使用されていた車は年式が新しくてもサビや故障が発生しやすく、その対応に何度も悩まされた経験があります。

逆に、テキサス州内で使用されていた車は、同じ年式・同じ走行距離でもコンディションが非常に良い状態で保たれていることが多いのです。

テキサスにお住まいの皆さまであれば、わざわざ寒冷地で使用されていた車を選ぶ理由はありません。中古車選びの際は、ぜひテキサス州内で乗られていた車かどうかチェックしてみてください。

これは私自身が長年の経験から学んだ、とても重要なチェックポイントです。



車選びと同じくらい大切な「どこで買うか」

最後に、私が最もお伝えしたいことがあります。それは、「どの車を買うか」と同じくらい、「どこで買うか」「誰から買うか」が重要だということです。

車は購入したら終わりではありません。むしろ本当のお付き合いはそこから始まります。オイル交換や定期点検、故障時の対応、警告灯が点灯した時の相談など、車を所有している限りサポートが必要になる場面は必ずあります。

また、同じ車でも日頃のメンテナンスによって寿命は大きく変わります。

だからこそ、“購入後も気軽に相談できる環境があるかどうか”を確認していただきたいと思います。

私たちも日々多くのお客様からご相談をいただいておりますが、車は「買うこと」よりも「長く安心して乗ること」の方が大切だと考えています。

これからアメリカで車を探される方が、ご自身に合った一台と出会い、安心してカーライフを楽しんでいただければ幸いです。

もし車選びで迷った時は、ぜひお気軽にご相談ください。



中古車売買 | リース | 修理 | メンテナンス

車のことならワンストップで解決！

どんなことでも
お気軽にご相談ください。

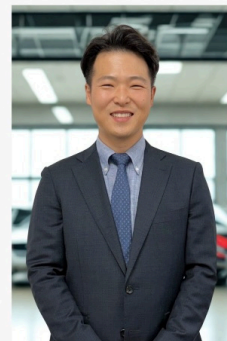
www.j-auto-solutions.com



代表

ユン ヨンジュン
Youngjun Yoon

お客様に安心と信頼を。
最適なカーライフをサポートします。





「アメリカでの離婚と自立」 ウェビナー開催



アメリカで暮らす中で、離婚や別居、自立を考える場面は誰にとっても身近な問題になることがあります。AADAが開催したオンラインウェビナーでは、DVへの理解を深めるとともに、将来に備えるための知識や支援制度についてご紹介しました。



室井絢子さん
(DVサバイバー・
ロサンゼルスCPAF所属)



しのぶフィリップスさん
(ユーチューバー、
ファイナンシャル
コンサルタント)

2026年6月6日、AADA（エイダ）は、日本語話者向けオンラインセミナー「アメリカ生活支援WEBINAR」シリーズの第1回として、「アメリカでの離婚と自立：知らないと困るお金と準備～DV・別居を含む“離れる選択”を考えたときの現実ガイド～」を開催しました。

ウェビナーの概要

本ウェビナーは、離婚や別居を含むさまざまな人生の転機に備え、自立に役立つ知識や情報を学ぶ機会として企画されました。アメリカでの生活に欠かせないお金や制度、事前に知っておきたい準備について紹介する内容です。

講師には、DVサバイバーとしての経験を持ち、ロサンゼルスでDV被害者支援を行うCPAF（Center for the Pacific Asian Family）に所属する室井絢子さんと、YouTubeチャンネル『シノブとナルミの毒舌アメリカンライフ』の共同ホストを務め、ファイナンシャルコンサルタントとしても活躍するしのぶフィリップスさんをお迎えしました。それぞれの経験や専門知識を交えながら、離婚や自立に向けた準備について解説いただきました。

DVサバイバーの経験から

DVサバイバーとしての経験を持つ室井さんは、自身の体験を交えながら、被害当時はそれがDVだと認識していなかったことや、どのようなきっかけで状況を客観視できるようになったのかについて語りました。身体的暴力だけでなく、精神的な支配や経済的な制限などもDVの一形態であることや、困ったときには一人で抱え込まず支援機関へ相談することの大切さが伝えられました。日本語で相談できる窓口が存在することを知るだけでも、海外で生活する人々にとって大きな安心につながります。

自立に向けた経済的な備え

しのぶさんは、離婚後や自立を考える際に知っておきたい経済面の基礎知識について解説しました。生活設計に必要な資金計画や生活費の考え方に加え、401(k)などの退職積立制度についても触れられました。駐在期間中の就労経験や資産形成が将来の生活設計に関わる場合もあることから、将来を見据えた準備の大切さが伝えられました。

さらに、離婚や別居という選択は当事者にとって大きな不安や葛藤を伴うものである一方、自分自身の選択枝や利用できる支援制度を知っておくことは、将来の可能性を広げられると強調されました。参加者にとっては、DVやモラハラへの理解を深めるとともに、自立に向けた備えについて考える貴重な機会となりました。

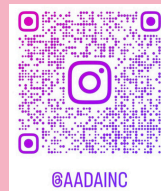
AADAとは

AADA（Asians Against Domestic Abuse／エイダ）は、家庭内暴力（DV）に直面するアジア系コミュニティの人々を支援する非営利団体です。在ヒューストン日本国総領事館の支援を受けながら、日本語での相談支援や情報提供を行っています。

AADAの取り組み

AADAではこれまでも、相談支援や情報提供、啓発活動を継続して行ってきました。今回のウェビナーもその取り組みの一環として開催されたものです。誰もが安心して生活するために、こうした情報提供の場の重要性は今後ますます高まっていくと考えています。

今後開催予定のウェビナーや
イベントについては
AADAのInstagramを
ご確認ください。



@AADAINC

AADA
執筆 藤原あや

ご相談お問い合わせは
AADA 宮澤明音
akane@aadainc.org



ヒューストンでは、5月に入ると気温30度を超える日が増え始め、7月、8月には体感温度が40度近い日もあります。暑い夏を犬と一緒に乗り切るために、朝の散歩はより早い時間に、夕方の散歩はより遅い時間に出かけるように工夫するのですが、それでも通常よりも短い散歩になりがちです。運動不足解消と気分転換のために、我が家では庭で犬と一緒に遊べる小さなプールを活用しています。



◀ 犬同士で遊んだ後も水を飲んだり体を冷やしたりできます

「犬かき」という言葉があるので、犬はさぞかし泳ぐのが得意で水が好きなのだろーと思われるのですが、実は水が苦手な犬もたくさんいます。雨の日に散歩に出たがらない犬も、川や海に遊びに行っても陸地を走るばかりで一向に水に入らない犬も多いのです。



◀ 噴水が出るタイプのビニールプールが最近のお気に入り

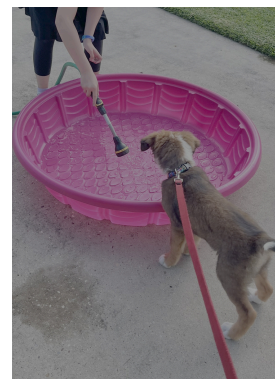


▲ 海は真夏は暑いので、シーズンオフがお勧めです



愛犬アクアを我が家に迎えたのは、ヒューストンのあちこちでプール開きが行われる5月のメモリアル・デーの頃でした。子犬の頃から水に慣らしておきたいと思っていたので、アクアのために小さなプールを買って、少しずつ庭で水遊びを始めることにしました。最初はホースから勢よく出る水に驚いていましたが、すぐに慣れ、庭で走り回って遊んだ後でもプールに入ると体温が下がって心地良いとすぐに理解したようでした。特に、ホースを直接繋ぐと、小さな穴から噴水が出る仕組みになっているプールが気に入って、早く水を出してと言わんばかりにプールで待つようになりました。真夏の海は暑すぎるので、身近な庭先で犬も人も足を水につけて涼むことで暑い夏が少しだけ凌ぎやすくなっています。

Enjoy
SUMMER



▲ 子犬のアクアはホースの水に驚いていました



◀ 小さな氷のかけらを食べて体を冷やすのも一案です

夏の暑さ対策としては、プール以外にも冷却マットやネッククーラーといった犬用の便利グッズもたくさん販売されていますが、小さな氷のかけらを食べさせるのも我が家では定番になっています。お腹が冷えすぎるのも困りますが、散歩のあと暑いからといって水を一気に飲みするのもよくないので、氷を砕いたものを数個あげると、ガリガリと音を立てながら食べ、水分補給と体温を下げるのに役立ちます。もちろん水をあげるのもお忘れなく。

今年もメモリアル・デーの後に我が家もプール開きをしました。3年前にアクアを我が家に迎えてから、4回目の夏を迎えますが、アクアと一緒にプールの水で涼みながら元気に過ごしたいと思います。

Houston Walker



夏のお出かけコーパスクリスティ探検！パドレ島&水族館

■ Padre Island @ Corpus Christy

ヒューストンから南西へ3時間半、コーパスクリスティから橋を渡るとすぐ、海岸線に沿って伸びる細長い島・パドレイアイランドに入ります。パドレイ島は長さがギネス記録にも登録されている182キロに渡るバリアー島（砂州島）で、渡鳥の飛来地としても知られています。北パドレイ島は国立海浜公園として手つかずのビーチが続き、Malaquite Beachではビジターセンターもあるので手軽に白砂のビーチを楽しめます。コーパスクリスティからさらに2時間南下すると南パドレイ島に辿り着きます（南北パドレイ島は運河で分断されています）。こちらはホテルやウォーターパークとリゾート開発が進み、野生イルカウォッチングツアー、ウミガメ放流見学も楽しめます。

■ Texas State Aquarium @ Corpus Christy

コーパスクリスティにあるテキサス最大の州立水族館。手が届く距離で見る色鮮やかなフラミンゴたち、サンドバーシャーク、イルカ、ウミガメ、アリゲーターなどを見ることができます。入館チケットで入れるスプラッシュパッドあり。周辺には日本軍とも因果が深い航空母艦レキシントンが停泊しており、博物館になっています。パドレイ島、水族館とあわせて夏休みのショートトリップに。



イベント情報

■ 開催中 - Aug. 9

Phenomenomaly @ Meow Wolf Houston

新たな現代ポップアートのスポット・ミャオウルフミュージアム。相互・没入型アート展示を行う美術館で、全米5ヶ所目となるヒューストンでは、夏の期間中ライブパフォーマンスを通して常設展示「Radio Tave」を楽しめる「Phenomenomaly」を金〜日で開催しています。

■ 開催中 - Jan. 2027

Made in Texas: 116 Years of Texas Aviation History @ Lone Star Flight Museum

大戦中パイロット訓練地が多く存在したテキサス。建国250年を記念してテキサス州が航空業界に貢献してきた歴史を紹介する展示「テキサス航空史116年」が行われています。こちらは常設展チケットで入場でき、歴史的なB-25爆撃機の展示、飛行シュミレーター体験（有料）もあります。

■ Jul. 30, Aug. 1, 3, 5, & 7

Houston Shakespeare Festival "THE TEMPEST" @ Millar Outdoor Theatre

ヒューストン大学（UH）によるシェークスピアフェスティバル。ハーマンパークの屋外ミラー劇場にて「テンペスト」が上演されます。UH演劇舞踊学部によって設立されたこのフェスティバルは、地域向けに学生とプロによる演劇を行なっています。ミラー劇場の席予約はウェブサイトから。

■ Aug. 6 - 9

RINGLING BROS. AND BARNUM & BAILEY® @ NRG Stadium

150年の歴史をもつ昔ながらの巡回サーカス団「リングリングブラザーズ」が、動物を使わないモダンサーカスに生まれ変わって全米ツアーを展開中。NRGスタジアムにて世界最高峰のアクロバットと映像音声の融合をご覧ください。

※内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。（ファーガソンステガー 佐野仁美）

編集後記

ヒューストンでは連日灼熱の太陽が容赦なく照りつけ、アスファルトから立ちのぼる熱気が夏の本番を告げております。どうぞ水分補給を怠らず、暑さに負けずお元気で過ごしていただけますよう、願っております。

さて、この編集後記の筆を執っている6月中旬、日本列島のみならず、世界中のサッカーファンの視線がここ北米に注がれています。FIFAワールドカップ北中米大会がいよいよ開幕し、テキサスの地もその熱狂の渦の中にあります。日本代表はグループF初戦で、強豪オランダと激突。2度リードを許しながらも、サムライブルーの諦めない戦いぶりに、日本中が固唾を呑んだ瞬間でした。

普段のニュースでアメリカ・テキサスの地名を目にすることはあっても、W杯開催地として「テキサス」「ヒューストン」の文字を見るたびに、ここに暮らす私たちとして誇らしいような、不思議な高揚感を覚えます。今年はサッカーの熱気と、さまざまな分野で拡がりゆく当地の盛り上がり加わり、気温計が示す数字以上に「アツク」感じるの、きっと私だけではないはずです。

4月より編集委員として携わせていただく中で、本誌がひとえに皆様のご尽力とご協力によって成り立っていることを日々実感します。このような素晴らしいコミュニティの一員として誌面づくりに関われることを大変嬉しく思います。皆様にとって実り多き夏となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

（編集委員 藤井光成）

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中！

問い合わせ先： sansuikai@jbahouston.org

ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。

<https://www.jbahoustongulfstream.com/>

発行：ヒューストン日本商工会
発行責任者：遠藤 宏治

編集委員長：伊藤 義治
構成・編集：ガルフストリーム編集委員一同

免責事項

掲載情報の正確性・安全性は保証しません。内容は更新等により変更・陳腐化する場合があります。掲載内容およびリンク先の利用に伴う損害について、当会は一切責任を負いません。リンク先は各運営者の責任であり、利用は自己責任でお願いします。

著作権等

本ニュースレターおよび記事の知的財産権は、ヒューストン日本商工会（JBAH）または各執筆者に帰属します。権利者の書面許諾なく複製・配布・送信等を禁じます。許諾は JBAH info@jbahouston.org までご連絡ください。© 2025 Japan Business Association of Houston. All rights reserved.